

**県立安芸津病院耐震化対応基本構想・
基本計画策定支援業務公募型プロポーザル
の実施について**

1 公募型プロポーザルの概要

(1) 要旨

県立安芸津病院耐震化対応基本構想・基本計画策定支援業務について、専門知識や経験を有する専門事業者に委託するため、公募型プロポーザルを実施した。

(2) 日時

令和3年5月27日(木) 15:00～19:30(於:オンライン開催)

(3) 議題等

ア プレゼンテーション

イ 審査

(ア) 委員の採点

(イ) 最優秀提案者の決定

(4) 提案者(発表順)

○ 株式会社病院システム

○ 株式会社エムエフティー

○ 株式会社日本経営

○ シップヘルスケアリサーチ&コンサルティング株式会社

2 公募型プロポーザルの結果

●審査の結果，株式会社日本経営を最優秀提案者と決定し，業務委託契約を締結した。

商号又は名称	評価値	選定結果
株式会社病院システム	552	
株式会社エムエフティー	489.4	
株式会社日本経営	564.4	◎
シップヘルスケアリサーチ&コンサルティング株式会社	499.5	

3 今後のスケジュール(案)

基本構想・基本計画策定スケジュール(R3年度)

- ・第3四半期を目途に基本構想策定し、年度内に基本計画を策定する。
- ・病院利用者である地元住民を対象とし、12月を目途に説明会を開催する。

区分	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)
外部評価委員会		●	●	● ●
専門部会		●	●	● ●
調査・分析等	契約 ●▶		
住民説明会			●	

基本構想策定

基本計画策定

【参考】これまでの耐震化対応検討専門部会の開催状況

- ・ 病院経営外部評価委員会の専門部会として設置(R元.9.9)し、これまで4回開催。
- ・ 安芸津病院の現況を確認するとともに、地域における役割なども踏まえ、耐震化対応の方向性について議論。

<p>第1回 (R元.12.18)</p>	<p>第2回 (R2.1.27)</p>	<p>第3回 (R2.12.7)</p>	<p>第4回 (R3.2.4)</p>
<p>〔委員(敬称略)〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹原地区医師会 会長 大田和弘 ・東広島市 健康福祉部長 梶永里美 ・県立安芸津病院 院長 後藤俊彦 ・広島県病院事業局 事務部長 杉山亮一 ・広島県医師会 副会長 豊田秀三 	<p>〔委員(敬称略)〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹原地区医師会 会長 大田和弘 ・東広島市 健康福祉部長 梶永里美 ・県立安芸津病院 院長 後藤俊彦 ・広島県病院事業局 事務部長 杉山亮一 ・広島県医師会 副会長 豊田秀三 	<p>〔委員(敬称略)〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹原地区医師会 会長 米田吉宏 ・東広島市 健康福祉部長 梶永里美 ・県立安芸津病院 院長 後藤俊彦 ・広島県病院事業局 事務部長 熊谷聡一郎 ・広島県医師会 常任理事 中西敏夫 	<p>〔委員(敬称略)〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹原地区医師会 会長 米田吉宏 ・東広島市 健康福祉部長 梶永里美 ・県立安芸津病院 院長 後藤俊彦 ・広島県病院事業局 事務部長 熊谷聡一郎 ・広島県医師会 常任理事 中西敏夫
<ul style="list-style-type: none"> ①安芸津病院について ②地域の状況について ③耐震性について ④その他医療全般について 	<ul style="list-style-type: none"> ①経営状況について ②患者数・医療需要予測について ③診療科について ④耐震化の方向性・機能強化について 	<ul style="list-style-type: none"> ①安芸津病院の機能について ②診療科について ③病床数について ④強化すべき機能、求める機能について 	<ul style="list-style-type: none"> ①対応方針について ②今後のスケジュール(案)について

【参考】耐震化対応方針

- ・ 専門部会における意見等も踏まえ、地域の中核的な病院として持続的に経営可能となるよう次のとおりとする。
- ・ 耐震化手法や病床数、医療機能強化等については、基本構想・基本計画において整理する。
- ・ なお、基本構想・基本計画においては、地元市町が実施する健康づくり事業等との連携策も併せて検討する。

①診療科

②二次救急医療

③地域包括ケア

現行機能の維持を基本とし、人員体制の確保等に努める

④施設(病床数を含む)

- ・ 旧棟は廃止する
- ・ 新棟建替え(耐用年数)を見据えたものとする
- ・ 患者予測等を踏まえ病床数を段階的に見直す

⑤設備(医療機器を含む)

MRIの整備等地域医療を支える機能の強化を検討する